

【令和8年度用 様式1-表】 令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	104	豊田市立 高橋中 学校	代表	堀川 政俊
------	-----	-------------	----	-------

テーマ	笑顔、あいさつ、ありがとうがあふれる学校生活の中で、地域とともに歩む学校づくりをめざして	分野	b	地域連携
	サブテーマ	i(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>安心・安全な学校生活を保障するとともに、地域に開かれ地域とともに歩む学校を目指して、地域の人・もの・ことと積極的に交流する学校づくりを進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 多面的な生徒理解を通して、生徒一人一人の居場所づくりを支える。 2 心の相談員を配置し、悩みを抱える生徒の相談活動や支援を行い、心の健康に役立てる。 3 仲間とともに合唱を作り上げる喜びや楽しさを実感することを通し、生徒自身の心の成長と地域との感動の交流を目指す。 4 積極的な情報発信、学校公開に努め、地域に開かれた学校づくりを目指す。 5 地域の諸活動に積極的に参加し、地域と交流する学校を目指す。 6 育友会、同窓会と深く連携し、親子が一緒に活動に参加する学校を目指す。 			
活動内容・計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 スクリーニング会議とチーム会議による生徒支援 <ol style="list-style-type: none"> ①前期と後期に1回ずつ、スクリーニング会議とチーム会議の実施 ②SSWやSC、関係機関と連携した生徒支援と家庭支援 2 積極的な情報発信・学校公開 <ol style="list-style-type: none"> ①学校通信、ホームページで活動内容を積極的に紹介(年間20回以上)する。 ②「語る会」(区長2回、民生・児童委員1回、保護司1回)を実施する。 3 地域との交流 <ol style="list-style-type: none"> ①高中祭(文化祭と高橋交流館祭の同時期開催 10月下旬)。 ・文化部展示・実演(ロボット部等)、生徒ボランティア。 ②地域講師の指導のもと「地域や保護者に感謝を伝え、ともに感動する合唱コンクール」の開催。 ③ぬくもりの会、地域での各種行事へのボランティア参加。 4 地域の人材・施設等の活用 <ol style="list-style-type: none"> ①読書活動グループによる「読み聞かせ」各学級6回開催。 ②学校支援ボランティアによる生徒の活動支援。 5 育友会との連携 <ol style="list-style-type: none"> ①親子クリーン活動(6月・10月実施)。 			
補助員配置	<p>多くの複雑な家庭環境や不登校・相談室登校に対する支援</p> <ol style="list-style-type: none"> ①心の相談員を配置し、様々な問題を抱えた生徒の相談活動や別室登校に備え、個々に対応していく。 			
実績・期待される効果	<p>本校には、発達障がいをはじめ、家庭環境など、様々な問題を抱えて別室登校や不登校傾向の生徒が少なくない。心の相談員による個に応じた指導により、家庭内に引きこもってしまい全く学校に登校できない生徒数の減少と、相談室登校生徒の学級への復帰や登校日数の増加が昨年度までもみられ、今年度も期待できる。</p> <p>また、スクリーニング会議とチーム会議をもとに、SSWやSC、関連機関と連携して、個々の生徒や家庭への支援の充実が期待できる。</p> <p>特色ある学校づくり推進事業への保護者アンケートの結果は、どの項目も高い数値を示してきた。また、生徒アンケート結果は、「高橋中学校に誇りをもっているか。もっと誇り高い学校にしたいと思うか」の項目で80%を超える数値を示してきた。生徒の地域でのボランティア活動では学習ボランティア部の準部員の登録が約160名にのぼり、生徒たちが積極的に活動する姿に、地域から多くの賞賛の声をいただいている。地域とともに歩む事業の推進と内容の充実によって、家庭・地域の学校への理解が進み、今後さらに本校教育活動の充実・浸透が期待できる。</p>			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内に引きこもってしまい全く学校に登校できない生徒数の減少と、相談室登校生徒の学級復帰数や登校日数で検証する。 ・生徒アンケート・保護者アンケートで、地域の活動への積極的な参加をしている項目の数値で検証する。 ・教科等に関する調査で、「学校が好きか」「地域が好きか」の項目の数値で検証する。 			